

## 第1学年道徳科学習指導案

日 時	令和7年1月28日(火) 第5校時 13:20~14:10
学校名	渋谷区立笹塚中学校
対 象	第1学年2組
会 場	3階 1年2組教室
授業者	主任教諭 西崎 弘人

(1) **主題名** 「本当の思いやり」内容項目 B 思いやり、感謝

(2) **教材名** 「思いやりの日々」

(3) **ねらい** 障害のある人と関わった主人公の気持ちを考えることを通して、本当の思いやりとは何かを理解し、温かい人間愛を深め、誰に対しても思いやりの心をもって生きようとする心情を育てる。

### (4) 主題設定の理由

思いやりは、人間関係を円滑にするための重要な要素である。子供たちが社会の中で他者と協力し、共に生きていくためには、他者への思いやりが欠かせない。思いやりを通じて、自分自身の感情や他者の感情を理解し、それを適切に表現する力を育てることができると考え、設定した。

### (5) 生徒の実態

活発で生き生きとした学級である。何か問いを投げかけられると、それに何とか答えようとする生徒が多く、またその答えに対して意見や感想を述べる生徒もいる。道徳の授業ばかりでなく、教科等の授業の話合いでも、自分の考えを率直に述べ、議論が深まることも多い。運動会や合唱コンクールにおいても、実行委員を中心にクラスの課題を洗い出し、その解決方法を話し合っ進んできた。運動が苦手な人、声が小さい人、音程がうまく取れない人を責めずに、アドバイスをしたり、コツを教えたりする姿が見られる。行事に対しては一丸になって取り組む団結力もち合わせている明るく気持ちのいいクラスである。

### (6) 人権教育の視点

障害のある人と関わった主人公の気持ちを考えることを通して、思いやりとは単に人に何かを施してあげることではないことに気づき、誰に対しても思いやりの心をもって生きようとする心情を育てる。

(7) 本時の流れ

	○学習活動 ・予想される生徒の反応	・人権教育に関わる留意点等 ◆評価
導入	<p>○ 本当の思いやりとは、相手の人にどうすることかについて、考えたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手が助かる、と思うことをすること。</li> <li>・ できるだけ手助けをすること。</li> <li>・ 相手がしてほしいことを考えて行動すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が思う「思いやり」について、想起させる。</li> </ul>
展開	<p>○ 「思いやりの日々」を範読する。</p> <p>【発問1】なぜ、和威さんは喜美世さんに何でもしてあげようとしたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喜美世さんのことを大切に思っているから。</li> <li>・ 今まで喜美世さんにお世話になったから、その分何かするのは当然だから。</li> <li>・ 喜美世さんの負担を少しでも軽くしてあげたい。</li> </ul> <p>【発問2】和威さんが、「私も、手伝おうかしら。」と言った喜美世さんに対して、「ぼくが全部やるから。」と断ったことをどう思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喜美世さんの負担を減らすことなのだから、優しいと思う。</li> <li>・ 喜美世さんの気持ちを聞いてから言えばよかった。喜美世さんのやりたいようにさせたほうが良かった。</li> </ul> <p>【発問3】「私も、手伝おうかしら。」と言った喜美世さんに対して、「ぼくが全部やるから。」と断ったことを、和威さんが後悔しているのは、なぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喜美世さんの気持ちを考えてあげればよかったと思ったから。</li> <li>・ 喜美世さんにもできることをさせてあげるのが本当の親切だと思ったから。</li> </ul> <p>【発問4】本当の思いやりには、どのようなことが大切だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の立場で考えることが大切なことである。</li> <li>・ 自分の想像で行動するのではなく、相手の気持ちを十分確かめてから行動することが大切。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 喜美世さんへの愛情あふれる行為であることを理解させる。</li> <li>・ 心情円を活用することで、気持ちを可視化させ、和威さんの行為について共感・批判の両面から意見が出るようにする。</li> <li>・ グループで出てきた考えをプレゼンテーションソフトで入力し、発表させる。</li> <li>・ 相手のためにあえて手助けをしないという行為は、深い愛情が根底になければならない。単純に相手に手助けをしないことが思いやりであると、生徒が考えないように配慮する。</li> </ul> <p>◆ 「本当の思いやりとは何か」という価値について生徒が理解し、よりよい人間関係を形成しようとしている。</p> <p>【ワークシート】</p>
終末	<p>○ 日々の生活で、自分が経験した本当の思いやりについて、考えたことを書いて発表する。</p>	